

## 研究活動報告(アルファベット順)

2018年(1月1日から12月31日)における専任教員の研究活動歴である。ここに掲載されているものは、大阪女学院大学・短期大学研究活動委員会の依頼に応じて、各専任教員が自己申請したものに限定されていることを付記する。研究活動歴は以下のように分類される。

氏名, (専門領域), I.著訳書, II.学術論文, III.その他の著作(研究ノート, 報告書, 雑誌, 新聞, ニュースレター等), IV.学会発表, V.その他の発表(シンポジウム, 講演, 放送等), VI.学会および公的な機関の委員, VII.科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

**青木 慶**(あおき・けい) [経営学(マーケティング)]

### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「ファンからの推奨は最強の販促」『販促会議8月号』, 2018年6月, 単著

### IV. 学会発表

- (1) Can Brand Experience Increase Customers' Contribution?: Brand advocates derived from co-creation platform, American Marketing Association, New Orleans, 2018/2/23
- (2) The role of "Ambassador program" as a resource of Brand Advocates, Global Alliance of Marketing and Management Association, Tokyo, 2018/7/27
- (3) The Effectiveness of a "Lead User" Community for the Diffusion of User Innovation-The Apple Distinguished Educator Program, Open and User Innovation Conference, New York University, 2018/8/6
- (4) Brand Experience, Sustainable Touchpoints, and Customer Contributions, Atlantic Marketing Association, New Orleans, 2018/9/22
- (5) 共創コミュニティから創出する社会的価値－Apple Distinguished Educator Programの事例より－, 日本マーケティング学会, 早稲田大学, 2018年10月14日

### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本広告学会 デジタルシフト研究委員会 委員 2018年10月から2019年9月

**崔 大龍**(チェ・デリョン) [戦略経営, ベンチャービジネス]

### IV. 学会発表

- (1) 「バランススコアカードとリーダーシップ:再考」戦略経営協会 FORUM61 ITソフトウェア健保会館 2018年8月26日

### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 戦略経営協会 副会長 2006年4月から現在に至る

**Cornwell, Steve**(コーンウェル・スティーブ) [TESOL, Education, Curriculum Design]

### II. 学術論文

- (1) Improving writing through x-word grammar. OJU Kiyu, vol. 14, March 2018, individual work.

### IV. 学会発表

- (1) Empowering students through X-word grammar, Independent Learning Association (ILA), Kobe, Sept. 7, 2018
- (2) Teachers Helping Teachers SIG Forum and AGM, JALT Granship, Shizuoka, Nov. 24, 2018
- (3) Empowering Students Through x-Word Grammar, JALT Granship, Shizuoka, Nov. 25, 2018

### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) Teachers Helping Teachers: From then to now. Osaka JALT, Osaka Jogakuin University, May 10,

2018

**VI. 学会および公的な機関の委員**

- (1) International Academic Forum (IAFOR) President of Academic Governing Board, January 1, 2017 to present
- (2) Japan Association for Language Teaching (JALT) Editorial Advisory Board, JALT Journal, continuing from last year-1/1/2017 through 12/31/2017 and into present
- (3) Japan Association for Language Teaching (JALT) Editorial Advisory Board, The Language Teacher, continuing from last year-1/1/2017 through 12/31/2017 and into present

夫 明美(ふ・あけみ) [英語教育, 第二言語習得]

**II. 学術論文**

- (1) 「Designing a contextualized study-abroad program」, 『大阪女学院短期大学紀要』47号 2018年3月発行 単著

**IV. 学会発表**

- (1) 「College students' growth through a short study-abroad program」 Jalt Back to School Conference 於：大阪女学院大学 2018年5月18日

**V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)**

- (1) 「People living in paradise」 KTA broadcast, 2018年4月(エリアスタディーズ ハワイ, KTA訪問時)
- (2) 「Seniors living in paradise」 KTA broadcast, 2018年10月(ホノカアシアセンター慰問時)

**VI. 学会および公的な機関の委員**

- (1) 国立国語研究所「基本動詞ハンドブック」見出し執筆およびスクリプト作成担当 2011年－現在

福島 知津子(ふくしま・ちずこ) [英語教育学]

**III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)**

- (1) 「2017年度教員免許状更新講習報告」大阪女学院大学教職センターニュースレター, 第29号, 2頁, 2018年1月
- (2) 「2017年度教育実習実施報告」大阪女学院大学教職センターニュースレター, 第29号, 3頁, 2018年1月

**V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)**

- (1) 「教育職員免許認定講習：異文化理解(1)」滋賀県教育委員会, 於滋賀大学, 2018年2月10日
- (2) 「教育職員免許認定講習：異文化理解(2)」滋賀県教育委員会, 於滋賀大学, 2018年2月17日
- (3) 「大阪女学院大学教員免許状更新講習2：作文の指導・評価」大阪女学院大学教職センター, 於大阪女学院大学, 2018年8月7日

**VI. 学会および公的な機関の委員**

- (1) 全国英語教育学会 紀要査読委員 2016年4月－現在にいたる。

船越 多枝(ふなこし・たえ) [経営学(組織行動論), 企業におけるダイバーシティ・マネジメントとインクルージョン, 企業におけるグローバル人材の育成, Organizational Behavior, Diversity and Inclusion in Japanese companies]

**IV. 学会発表**

- (1) 「ダイバーシティ・マネジメントにおけるインクルージョンの促進～プロアシスト社の事例～」, 経営行動科学学会 第21回年次大会, 於：日本大学, 2018年10月21日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「ダイバーシティ・マネジメントとは何かー『不確実な時代』における重要戦略としてのダイバーシティ&インクルージョンー」, D-BRIDGE (NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク) 「逸品」ものづくり経営塾 第10期 全体会議, 於: 同志社大学 寒梅館, 2018年4月26日

VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「日本企業のダイバーシティ・マネジメントにおけるインクルージョンの効果と促進要因」 独立行政法人日本学術振興会「平成29年度科学研究費助成事業 研究活動スタート支援」平成29年度～平成30年度

幡新 大実(はたしん・おおみ) [English Law, Comparative Law]

I. 著訳書

- (1) 「ウォーノック・レポート(英国)」「コックス事件(英国)」「骨髄移植」「最善の利益」「臍帯血バンク」(甲斐克則編集代表)『医事法辞典』信山社(p. 81, pp. 211-3, 223-4) 2018年(共著, 単独で項目を担当)

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 'Mutinies in Manchuria 1928-1931: on interface between domestic and international criminal jurisdictions' *IJS Newsletter* No.14, April 2018, pp.21-25, individual work

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「英国学派と国際共生」大阪女学院大学国際共生研究所第65回研究会報告 2018年5月9日

平野 真理子(ひらの・まりこ) [アメリカ文学, 日系アメリカ文化・歴史・文化・コミュニティ研究]

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「交錯する『わたしたち』(“We”) – Julie Otsuka, *The Buddha in the Attic* についての一考察, 『神戸英米論叢』第31号, 2018年2月, 単著

IV. 学会発表

- (1) 「ハワイの児童文学」, 神戸英米学会, 神戸大学, 2018年3月9日  
(2) “Empowering Students through X-Word Grammar.” Independent Learning Association, Kobe, Sep. 7, 2018, joint  
(3) アジア系アメリカ文学研究会第135回例会, ハワイ日本人移民150周年記念イベント: ミニシンポジウム — 「ハワイ日本人移民150周年」パネリスト, 神戸大学, 2018年11月11日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 模擬授業「日本語から英語へ — 翻訳するには何が必要?」和歌山県立橋本高校, 2018年8月31日

Johnston, Scott (ジョンストン・スコット) [International Education, intercultural communication]

II. 学術論文

- (1) “Elementary Education Internship: Students Learning about Education and Themselves.” *Osaka Jogakuin University Kiyou* 14, March 1, 2018.(Co-written with Eiko Kato-Otani).

加藤 映子(かとう・えいこ) [言語習得, ICTを活用した教育]

II. 学術論文

- (1) 「グローバル政策と英語教育」『IDE現代の高等教育』2018年1月号 pp. 36-41

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) “Elementary Educational Internship: Students Learn about Education and Themselves. 『大阪

- 女学院大学紀要』第14号, 2018年3月, p.147-165, 共著
- (2) 絵本とことば 第4号 2018.4発行
1. 今季の絵本「ルビイのぼうけん こんにちは！プログラミング」 単著
  2. 「プログラミング的思考の基本が身につく絵本」 単著
  3. 「加藤映子の留学物語Vol. 4」 単著
  4. ほんの千夜一夜「読み聞かせ この素晴らしい世界」 単著
  5. 赤ちゃんとことば「ハルちゃんの軌跡」④ 単著
  6. 英語で絵本「PLAY WITH ME」 単著
  7. 「大阪女学院こぼればなし」 単著
- (3) 絵本とことば 第5号 2018.7発行
1. 今季の絵本「かもさん おとおり」 単著
  2. 「言語能力だけでなく, 思考力も高める絵本制作」 単著
  3. 「加藤映子の留学物語Vol. 5」 単著
  4. ほんの千夜一夜「絵本についての僕の本」 単著
  5. 赤ちゃんとことば「ハルちゃんの軌跡」⑤ 単著
  6. 英語で絵本「MAKE WAY FOR DUCKLINGS」 単著
  7. 「大阪女学院こぼればなし」 単著
- (4) 絵本とことば 第6号 2018.10発行
1. 今季の絵本「あいうべえほん」 単著
  2. 「加藤映子の留学物語Vol. 6」 単著
  3. ほんの千夜一夜「子どもが育つ魔法の言葉」 単著
  4. 赤ちゃんとことば「ハルちゃんの軌跡」⑥ 単著
  5. 英語で絵本「Atlas of Adventures」 単著
  6. 「大阪女学院こぼればなし」 単著
- (5) 書籍紹介 “The Routledge International Handbook of Early Literacy Education,” 大阪女学院  
大学国際共生研究所通信第12号, 2018年10月13日, p.3
- (6) 絵本とことば 第7号 2018.12発行
1. 今季の絵本「おおきな木」 単著
  2. 「最初は出版を断られたベストセラー“The Giving Tree” 単著
  3. 「加藤映子の留学物語Vol. 6」 単著
  4. ほんの千夜一夜「世界の絵本・児童文学作品」 単著
  5. 赤ちゃんとことば「ハルちゃんの軌跡」⑦ 単著
  6. 英語で絵本「The Giving Tree」 単著
  7. 「大阪女学院こぼればなし」 単著
- (7) 「大阪女学院大学・短期大学の英語教育」－スキルトレーニングを超えて－Wilmina Voices  
(2018), No.40

#### IV. 学会発表

- (1) KOR-JPN Future Education Meetup@Busan SW Education Support Center Showcase “Distant English Education” 於：韓国 釜山 SW教育サポートセンター 主催：釜山広域市教育監, 2018年3月30日

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 講演「子どものことばを育む絵本の読み聞かせ」 於：加古川駅南子育てプラザ NPO法人子育てサポートきらりing, 2018年1月27日
- (2) “Ice break セッション Tap & Talk” Unofficial ADE Korea, ADE Japan and Their Friends Meet up 於：韓国 釜山 Bay101, 2018年3月31日

- (3) 講義「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 夢ナビLIVE 2018 大阪会場, 於: インテックス大阪, 2018年6月16日
- (4) 「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 高大連携授業, 於: 宝塚西高校, 2018年12月18日

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 私立大学連盟 理事長会議 幹事
- (2) 大阪私立短期大学協会理事 (広報担当)
- (3) 私学研修福祉会平成29・30年度私立大学の教育・研究充実に関する研究会 (短期大学の部) 運営委員
- (4) 大阪YMCA評議員
- (5) 大学コンソーシアム大阪 監事

Kramer, Brandon (クレマー・ブランドン) [Vocabulary Learning, Language Testing, Corpus Linguistics]

#### II. 学術論文

- (1) “Student grittiness: Investigating the use of the grit scale in Japanese L2 classrooms.” *Osaka Jogakuin Junior College Kiyo*, 47, March 2018, joint.
- (2) “The process of L2 listening acquisition: A synthesis of the research literature.” *Temple University Japan Studies in Applied Linguistics*, 112, February 2018, individual.
- (3) “The process of L2 speaking acquisition: A synthesis of the research literature.” *Temple University Japan Studies in Applied Linguistics*, 112, February 2018, individual.

#### III. その他の著作 (研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) “授業紹介: Integrated Studies.” *Highlights*, 187, December 2018, individual.

#### IV. 学会発表

- (1) “Japanese high school EFL students’ knowledge of inflectional and derivational forms.” JALT, Shizuoka, November 2018.

#### V. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “Extensive Reading at Osaka Jogakuin.” Osaka Jogakuin University & Junior College, Osaka, July 2018.

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) JALT Vocab SIG, Executive Board Member, January-December 2018.

黒澤 満 (くろさわ・みつる) [国際法, 国際関係論]

#### II. 学術論文

- (1) “The Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons,” *Osaka University Law Review*, No. 65, pp. 1-23, February 2018, individual work
- (2) 「核兵器禁止条約の意義と課題」『大阪女学院大学紀要』第14号, 2018年3月, 15-32頁, 単著
- (3) “Stigmatizing and Delegitimizing Nuclear Weapons,” *Journal for Peace and Nuclear Disarmament*, Nagasaki University RECNA, pp.32-48, May 2018, individual work
- (4) 「米国の核政策—トランプ政権の核態勢見直しを中心に—」『阪大法学』第68巻2号, 111-133頁, 2018年7月, 単著

#### III. その他の著作 (研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「核兵器禁止条約の意義と核兵器廃絶の展望」非核の政府を求める会シンポジウム『核兵器禁止条約の力と非核の政府を語る』, 9-17頁, 2018年2月22日
- (2) 「核兵器禁止条約の意義と課題」『聖教新聞』, 2018年3月1日

- (3) 「核兵器廃絶に向けて：期待される市民社会の役割」『第三文明』700号，20－22頁，2018年4月
- (4) 「「使える核」に方針転換 トランプ政権」『中国新聞』，2018年5月21日
- (5) 「核なき世界への道筋」『學志會会報』，No.931，2018－IV，17－21頁，2018年8月
- (6) 「地球の上から世界を見よう」『大阪女学院大学2019年大学案内』，Vol.3，19－20頁，2018年7月
- (7) 「競合する大国敵視」『朝日新聞』，2018年10月22日，単著
- (8) 「核兵器禁止条約と「人類の安全保障」」『大阪女学院大学国際共生研究所通信』第12号，1頁，2018年10月30日
- (9) 「核廃絶の道義論，長崎で集会開催」『朝日新聞』，2018年11月17日
- (10) 「核兵器即時全面禁止を」『毎日新聞』，2018年11月17日
- (11) 「核禁条約，早期発効を」『長崎新聞』，2018年11月17日
- (12) 「非核の機運 世界と共に」『朝日新聞』，2018年11月17日
- (13) 「世論喚起で核廃絶へ」『長崎新聞』，2018年11月19日
- (14) 「核兵器廃絶へ3600人」『毎日新聞』，2018年11月27日

#### IV. 学会発表

- (1) 「核軍縮の概要と検証の重要性」『日本原子力学会』，大阪大学吹田キャンパス，2018年3月27日
- (2) 「軍縮と集団安全保障及び核軍縮の課題」『日本国際連合学会』，東海大学高輪キャンパス，2018年6月30日

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「トランプ政権の核態勢見直し(NPR)と日本」朝日新聞大阪本社勉強会，大阪，2018年2月9日
- (2) 「核軍縮・核不拡散」ひろしまレポート作成事業研究会，東京，2018年5月13日
- (3) 「核兵器禁止条約と米国の核態勢見直し」核戦争防止国際会議(IPPNW)大阪府支部，大阪，2018年4月21日
- (4) 「核軍縮の歴史的展開」同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科，京都，2018年5月8日
- (5) 「核拡散防止の歴史的展開」同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科，京都，2018年5月15日
- (6) 「核軍縮の展望：核兵器禁止条約と米国の核態勢見直し」核戦争防止医師会議(IPPNW)日本支部，広島，2018年5月23日
- (7) 「核兵器禁止条約について」科研研究会，京都大学，2018年5月15日
- (8) 「核兵器廃絶へのアプローチ」大阪女学院大学国際共生研究所平和・人権研究会，大阪，2018年10月17日
- (9) 「基調講演：核兵器の廃絶に向けて」第5回核兵器廃絶地球市民集会ナガサキ，長崎，2018年11月16日

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本軍縮学会 理事・監事
- (2) 日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター 客員研究員
- (3) 核戦争防止医師会議(IPPNW)大阪府支部 顧問
- (4) 国立大学法人長崎大学核兵器廃絶研究センター 顧問
- (5) Panel on Peace and Security in Northeast Asia (PSNA) Member
- (6) ひろしまレポート作成事業 委員
- (7) 広島平和祈念館展示説明文執筆会議 委員
- (8) 日本パグウォッシュ会議諮問会議 委員
- (9) Journal for Peace and Nuclear Disarmament Board Member

## Ⅶ. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「安全保障貿易管理の法秩序－安全保障と国際経済の均衡点の分析と実務提言」, 基礎研究 (A) (一般)

馬淵 仁(まぶち・ひとし) [異文化理解論, 多文化共生論, 教育社会学]

### I. 著訳書

- (1) 「日本における異文化間教育と多文化教育の問題と展望」, (青木麻衣子編) 『オンラインでつなぐ協働学習－複数国・地域での多文化交流型授業の実践』, 北海道大学, (pp.12-36), 2018年3月, 共著

### Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 書評: 松尾知明著 『多文化教育の国際比較－世界10ヵ国の教育政策と移民政策』 明石書店 (219頁) 『比較教育学研究』 57号, 日本比較教育学会, (pp.183-185), 2018年8月31日

### Ⅳ. 学会発表

- (1) 「A country with no immigration policies－Its realities and challenges」, International Metropolis 2018, 於: International Convention Centre Sydney, 2018年10月31日

### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 2019年度特定課題研究 第1回公開研究会司会, 異文化間教育学会, 於: 東京大学教育学部, 2018年12月2日

### Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) オセアニア教育学会会長 (2018年度)
- (2) 異文化間教育学会 理事 研究委員会副委員長 (2018年度)
- (3) オーストラリア学会 理事 紀要編集担当 (2018年度)

## Ⅶ. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 日本性に基づく異文化間能力の教育プログラム開発に関する研究 科研基盤研究C 2018～2020年

前田 美子(まえだ・みつこ) [比較・国際教育, 開発教育, 国際協力, 理科教育, 教育方法, ファシリテーション研究]

### Ⅳ. 学会発表

- (1) 「カンボジアにおける教育汚職－歴史の変遷に着目して－」, 第64回大阪女学院大学平和・人権研究会, 於: 大阪女学院大学, 2018年1月30日
- (2) 「A review of literature on corruption in education」, Cambodia-Japan Educational Research Seminar, National Institute of Education, Phnom Penh, Cambodia, February 17, 2018
- (3) 「カンボジアの教育現場における学業不正」, 日本比較教育学会第54回大会, 於: 広島大学, 2018年6月24日
- (4) 「イノベーションとしての授業研究の受容: インドネシア小学校の場合」, 日本比較教育学会第54回大会, 於: 広島大学, 2018年6月24日
- (5) 「日本型教師教育の導入と受容: インドネシアにおける授業研究の場合広島大学」, 日本教師教育学会第28回研究大会, 於: 東京学芸大学, 2018年9月30日
- (6) 「カンボジアにおけるカンニング行為－不正のトライアングル理論による考察－」, 第2回東南アジア教育研究フォーラム, 於: 関西大学梅田キャンパス, 2018年12月1日
- (7) 「日本型教師教育の海外移転: インドネシアを事例として」, 第2回東南アジア教育研究フォーラム, 於: 関西大学梅田キャンパス, 2018年12月2日

### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「開発教育における教育活動」, 大阪女学院短期大学・大学FD/SD, 於: 大阪女学院大学, 2018



年1月24日

- (2) 講師：「国際文化・国際関係：頭と身体を使って考える地球規模の問題」, 高校内ガイダンス 模擬授業, 於：奈良県立五條高等学校, 2018年1月31日

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 鳴門教育大学教員教育国際協力センター共同研究員 2012年8月より
- (2) Editorial board member of the International Journal of Comparative Education and Development (IJCED) 2015年10月より
- (3) Visiting Scholar of the University of Pennsylvania's Graduate School of Education 2018年4月より

#### VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「開発途上国の学業不正に関する研究：大学生のライフストーリーから」, 科学研究費補助金 基盤研究C, 研究代表者, 平成29～31年度
- (2) 「国際教育開発としての日本型教育の輸出：教員養成カリキュラムを事例に」, 科学研究費補助金 基盤研究C, 研究分担者, 平成29～31年度

松尾 徹(まつお・とおる) [語彙習得, リーディング, 協同学習]

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「グループ学習と協同学習は同じではない」大阪女学院大学・短期大学 教員養成センター ホームページ 英語教育リレー 随想 第103号 2018年10月

#### IV. 学会発表

- (1) “The Role of Lexical Size, Depth of Vocabulary Knowledge, and Automaticity of Word Recognition on Reading Comprehension.” The 20<sup>th</sup> TEMPLE UNIVERSITY APPLIED LINGUISTIC COLLOQUIUM, Osaka, Feb, 2018

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本協同教育学会 国際協同教育学会 台北国際大会 英語サポート委員 2018.9～

McLean, Stuart (マククリーン・スチュアート) [TESOL, Applied Linguistics, Testing, Vocabulary]

#### II. 学術論文

- (1) McLean, S., Poulshock, J. (2018). Increasing reading self-efficacy and reading amount in EFL learners with word-targets. *Reading in a Foreign Language*, 30(1), 76-91.
- (2) Kramer, B., McLean, S., & Martin, E. S. (2018). Student grittiness: Investigating the use of the grit scale in Japanese L2 classrooms. *Osaka Jogakuin Junior College Kiyu*, 47, 25-41.

中垣 芳隆(なかがき・よしたか) [学校経営論]

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 大阪府立北野高等学校 Super Global High School 運営指導委員 2014～2019

中西 美和(なかにし・みわ) [臨床心理学]

#### II. 学術論文

- (1) 「ゲシュタルトクライシスを経験した女性の成長過程－ゲシュタルト療法からの考察－」, 『大阪女学院大学紀要』 第14号, pp.53-67, 2018年3月1日発行, 単著

#### IV. 学会発表

- (1) 「ゲシュタルト派のスーパーヴィジョンの実際」, 日本人間性心理学会第37回大会, 於：人間環境大学, 開催日 2018年9月14日－16日
- (2) 「学会全体の体験のシェア」, 日本臨床ゲシュタルト療法学会第9回大会, 於：大阪クリスチャ



ンセンター，開催日2018年12月8日

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「カウンセリング概論」，関西いのちの電話 第54期電話相談ボランティア養成講座，於：関西いのちの電話(博愛社5階)，2018年5月16日，講師
- (2) 「第2回ゲシュタルト療法ワークショップ in 京都」，京都ゲシュタルト療法研究会主催，於：亀石樓，2018年2月24-25日，セラピスト
- (3) aeru大阪ワークショップ vol.1「ゲシュタルト療法を通してココロからトノエル」，aeru主催，於：大阪女学院大学，2018年6月30日，セラピスト
- (4) 「職場で活かす協働と共働のツボ」，学校法人大阪女学院主催，教育研究セミナー第20回，於：大阪女学院西館，2018年7月17日，講師

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本臨床ゲシュタルト療法学会，常任理事，2016年～2018年

**奥本 京子**(おくもと・きょうこ) [平和学・紛争転換学・非暴力介入論・平和ワークにおける芸術アプローチ・ファシリテーション論・メディエーション論・NGO論]

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 書評「平和ワークの実践を語る：執筆者各人の平和創造の豊かな経験が凝縮されている」，『図書新聞』3369号，2018年10月6日，単著，第2面特集：災害・核・平和構築に向き合う書評－戦争を正当化しないための三冊，大橋正明・谷山博史・宇井志緒利・金敬黙・中村絵乃・野川美央編『非戦・対話・NGO：国境を越え，世代を受け継ぐ私たちの歩み』新評論，単著
- (2) 「ナルピ2018年度夏季トレーニング報告」『非暴力平和隊・日本(NPJ) ニューズレター』第69号，2018年11月29日，単著

#### IV. 学会発表

- (1) 「ストーリー(もの語り)が持つ意味：平和ワークにおいてファシリテーションが何をなしうるか」，大阪女学院大学国際共生研究所，第67回平和・人権研究会(プロジェクト1主催，プロジェクト3後援)，於：演習室，2018年6月13日
- (2) 「平和紛争学の基礎概念と平和教育の関係性」，関西学院大学キリスト教と文化研究センター(RCC)，研究プロジェクト「キリスト教主義教育の展開～キリスト教主義学校における平和教育のあり方をめぐって～」RCC公開シンポジウム，第2部「キリスト教主義学校における平和教育のあり方をめぐって」，於：関西学院大学 吉岡記念館3F会議室1，2018年10月12日

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「ともに生きる社会を創り出すために～平和のメソッドを学ぶ～」，日本YMCA同盟，第18回(2017年度)中日本地区YMCA グローバル教育研修会，於：六甲山YMCA，2018年2月17～18日
- (2) “Arts Approaches to Community-Based Peacebuilding”，Mindanao Peacebuilding Institute Summer Training，共同ファシリテーター：Babu Ayindo氏，於：フィリピン・ミンダナオ・ダヴァオ，MPI，Mergrande Ocean Resort，2018年5月21～5月25日
- (3) “Arts, Culture and Conflict Transformation Peacebuilding Learning Exchange”，IMPACT，米国Brandeis University，International Center for Ethics, Justice and Public Life，Peacebuilding and the Arts，IMPACT-Imagining Together: Platform for Arts, Culture and Conflict Transformationプロジェクト，於：online，2018年5月21～23日
- (4) 「平和学ワークショップ&懇談会」，同志社大学グローバル地域文化学部，向正樹准教授，於：同志社大学グローバル地域文化学部，2018年6月14日
- (5) 「平和をデザインする」，東北芸術工科大学 芸術平和学講座，於：東北芸術工科大学，2018年6月19日
- (6) 「トレーナーズトレーニング やり⇔とり力を育てる：『国家・祖国・ネイション』をめぐって

- て」、日本平和学会、部会1 ワークショップ、平和教育プロジェクト委員会企画、於：東京大学駒場キャンパス、2018年6月23日
- (7) 「学部学科分野理解：外国語学・国際関係学について」県立西宮高校、高校内ガイダンス、於：県立西宮高校、2018年6月28日
- (8) 「現場から学ぶ人対人の平和構築研修 人に焦点を当てた平和のつくりかた。」アイ・シー・ネット株式会社グローバル人材開発事業部、副講師：高部優子氏、佐々木萌氏、於：アイ・シー・ネット株式会社本社、2018年6月30日
- (9) 「クリエイティブアーツでとりくむコンフリクト（紛争解決）！共生って何だろう？平和って何だろう？」アップコンセプト、日本クリエイティブ・アーツセラピー学会（JCATA）後援、シンポジウム「共生のためのクリエイティブ・アーツ～多様性の中を生きる子どもたちとともに～」、基調講演&クリエイティブアーツ体験、共同ファシリテーター：笠井綾氏、於：大阪市中央公会堂大会議室、2018年7月29日
- (10) “Conflict and Peace Framework”, NARPI Summer Training, Special Resource: Hong Soek (Scott) Kim, 於：韓国済州島, Booyoung Youth Center, 2018年8月9～13日
- (11) “Arts, Media, and Peacebuilding”, NARPI Summer Training, Special Resource: Gayeon Kim, 於：韓国済州島, Booyoung Youth Center, 2018年8月17～21日
- (12) 「人間関係のトラブルを平和的に解決する方法」、大阪女学院中学校高等学校、解放教育推進部、生指・解放教職員学習会、於：大阪女学院高等学校第1会議室、2018年9月7日
- (13) 「下関フィールドトリップと平和のための実践的トレーニング」、NARPING（仮称）、ナルピや日本平和学会平和教育プロジェクト委員会の仲間たち、ファシリテーター：奥本京子、高部優子、暉峻僚三、中井淳、リソースパーソン：片野淳彦、於：下関労働教育センター、2018年9月22～24日
- (14) 特別講義：ガルトゥング平和学「紛争を解決するためのワークショップ」、「芸術文化原論9」京都造形芸術大学大学院、芸術研究科、芸術専攻、於：京都造形芸術大学、人間館、2018年10月11日
- (15) 「トレーナーズトレーニング やり⇔とり力を育てる：高校の新設必修科目「公共」に向けて」、日本平和学会、部会6 ワークショップ、平和教育プロジェクト委員会企画、於：龍谷大学深草キャンパス、2018年10月28日
- (16) 「憎しみを愛に変える：争いのしくみを理解し、解決を体験しよう！」いずみ市民生協南河内北エリア委員会、於：羽曳野市民会館、2018年12月6日
- (17) 「核兵器のない世界をつくるには～平和紛争学からの視点～」川崎塾 ふらっとピースネットこうべ、協力団体：生活協同組合コープこうべ・（公財）神戸YMCA・（公財）神戸YWCA・賀川記念館・神戸市外国語大学・ピースプラットホーム・兵庫県ユニセフ協会、於：神戸市外国語大学、2018年12月15日
- (18) 「【基礎から学ぶ】「人対人」の平和構築研修：人に焦点を当てた平和のつくりかた」、アイ・シー・ネット株式会社、於：埼玉会館、2018年12月22日

## VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 国際トランセンド 認証トレーナー 2000年11月26日～現在に至る
- (2) 同上 東北アジア地域コンピーナー 2006年～現在に至る
- (3) トランセンド（平和的手段による紛争転換）研究会 理事 2017年1月～現在に至る
- (4) 非暴力平和隊・日本 理事 2003年1月31日～現在に至る
- (5) 日本平和学会 平和と芸術分科会 副責任者 2012年2月～現在に至る
- (6) NARPI (Northeast Asia Peace Research Institute) 運営委員会委員 2009年～、委員長 2014年～現在に至る
- (7) ACTION Asia Leader 2010年11月～現在に至る

- (8) 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 共同研究機関「文明哲学研究所」 客員教授 2013年4月～現在に至る
- (9) 神戸家庭裁判所(本庁) 家事調停委員 2014年10月1日～現在に至る
- (10) 大阪女学院大学国際共生研究所(RIICC) プロジェクト3「ファシリテーション・メディアエーション研究」設立者・代表 2014年10月8日～現在に至る
- (11) The Charhar Institute(察哈尔学会) 高級研究員 2015年12月～現在に至る
- (12) 日本平和学会第23期理事 2018年1月～2019年12月
- (13) 日本平和学会第23期国際交流委員会委員長 2018年1月～2019年12月
- (14) 関西学院大学キリスト教と文化研究センター(RCC) 研究員 2017年4月～2019年3月
- (15) 南京大屠殺史と国際和平研究院(the Institute of Nanjing Massacre and International Peace Studies, INMIPS)Special Fellow 2017年10月～現在に至る
- (16) 米国 Brandeis University, International Center for Ethics, Justice and Public Life, Peacebuilding and the Arts, "IMPACT-Imagining Together: Platform for Arts, Culture and Conflict Transformation"プロジェクト 東北アジア担当研究員 2017年12月～現在に至る

大塚 朝美(おおつか・ともみ) [英語音声教育, TESOL]

## II. 学術論文

- (1) 「英語発音における学習者の自己評価の難易度：音素と音のつながりについて」『大阪女学院短期大学紀要』第47号, 2018年3月(単著), pp.1-9.
- (2) 「EFL環境におけるスピーキング向上－語彙学習と反転授業の視点からの提案－」『同志社女子大学総合文化研究所紀要』第35巻, 2018年7月(共著), pp.137-144.

## III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「私の近刊『国際語としての英語：進化する英語科教育法』」, 『2017年度大阪女学院大学・大阪女学院短期大学教職課程機関誌』Vol.8, 2017年3月, 単著

## IV. 学会発表

- (1) 「授業内発音トレーニングが学習者の知覚に与える効果：音素と音のつながりについて」, 全国英語教育学会(JASELE) 第44回京都研究大会, 於：龍谷大学, 2018年8月20日(単独)

## V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「未来の英語教師について語り合いませんか？」若本夏美×今井由美子×大塚朝美講演会, 丸善京都本店, 2018年2月17日
- (2) 「『英語らしい発音』とは？世界で通用する英語の発音を目指そう！」, 大阪女学院大学・短期大学 オープンキャンパス, 2018年4月22日
- (3) 「『英語らしい発音』とは？世界で通用する英語の発音を目指そう！」, 大阪女学院大学・短期大学 オープンキャンパス, 2018年7月15日
- (4) 「『英語らしい発音』とは？世界で通用する英語の発音を目指そう！」, 大阪女学院大学・短期大学 オープンキャンパス, 2018年8月19日

## VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 外国語教育メディア学会(LET) 運営委員 2012年4月～2018年3月

## VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「英語オーラルコミュニケーション能力の伸長の可能性－語彙学習方略と反転授業に着目して」文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究分担者 2016年4月～2019年3月

朴 賢淑(パク・ヒヨンス)〔キリスト教学, 実践神学, 宣教学, 東アジアとキリスト教, ラテン・アメリカとキリスト教, 公共の哲学〕

## II. 学術論文

- (1) 「矢内原忠雄と朝鮮をめぐる宣教論的一考察」『宣教学ジャーナル』第12号, 2018年6月, 単著

## VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本基督教学会(近畿支部 幹事), 2018年9月～

関根 聡(せきね・あきら)〔社会学, 家族社会学, 福祉社会学, ジェンダー論〕

## II. 学術論文

- (1) 「大学生における性役割プロセスに関する一考察3」, 『吉備国際大学大学院社会学研究科論叢 19号』, 2018年3月1日, 単著

## III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「超高齢社会を迎えた今, ライフコースを逆算してみませんか」, 『大阪YWCA機関紙 651号』, 2018年7月1日, 単著

## V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「高齢者を取りまく社会の状況と, 介護をめぐる家族危機」, 加古川市市民部人権施策推進課, 於: 加古川市人権文化センター 大ホール, 2018年1月20日
- (2) 「現代社会で家族個人を守るには(第50回福祉カウンセリング講座)」, 福祉カウンセリング協会, 於: 市民活動スクエア「CANVAS谷町」, 2018年1月23日
- (3) 「高齢者介護をめぐる家族危機」, 姫路市人権啓発センター, 於: 北部市民センター, 2018年8月1日
- (4) 「高齢者を取りまく社会の状況と, 介護をめぐる家族危機」, 加古川市市民部人権施策推進課, 於: 加古川市立氷丘公民館 大ホール, 2018年8月31日
- (5) 「高齢者を取りまく社会の状況と, 介護をめぐる家族危機」, 加古川市市民部人権施策推進課, 於: 加古川市東加古川公民館 大ホール, 2018年9月7日

## VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 八尾市男女共同参画審議会 副会長 2010年9月～2018年11月
- (2) 阪南市男女共同参画推進審議会 副会長 2014年7月～2020年3月
- (3) 大阪市 大阪市立男女共同参画センター西部館及び大阪市立こども文化センター管理運営評価有識者会議 委員 2017年7月～

Sponseller, Aaron C. (スポンセラー・アロン)〔TESOL, Applied Linguistics, Early Childhood L2 Literacy, Study Abroad〕

## II. 学術論文

- (1) “The Processes Involved in Second Language Listening.” *Temple University Japan Studies in Applied Linguistics: Listening, Speaking, and Validity*, vol. 112, January, 2018. Individual
- (2) “Speaking: The Levelt Model, Speaking in L2, and Fluency Development.” *Temple University Japan Studies in Applied Linguistics: Listening, Speaking, and Validity*, vol. 112, January, 2018. Individual
- (3) “Principles of Instrument Validation.” *Temple University Japan Studies in Applied Linguistics: Listening, Speaking, and Validity*, vol. 112, January, 2018. Individual
- (4) “Validating the Sojourner Self-Efficacy in Communication Scale (SSEC) for Japanese University Students.” *Stretching Boundaries. Papers from the Third International Psychology of Language Learning Conference*, vol. 2, December, 2018. Joint

#### IV. 学会発表

- (1) "The Benefits of Children's Storybooks for Language Learning as Perceived by Japanese Parents, Pre-service, and In-service Educators." Hiroshima JALT, Hiroshima, April 15, 2018
- (2) "Validation of a Parental Reading Belief Scale for Japanese L1 Mothers." Osaka JALT; Back to School 2018, Osaka, May 12, 2018
- (3) "Validation of the Sojourner Self-Efficacy in Communication Scale (SSEC) for Japanese University Students." International Association of Psychology in Language Learning, Tokyo, June 9, 2018
- (4) "Assessing the Impact of Study Tours Abroad on Japanese Sojourners: Beyond Language Development." Hiroshima JALT, Hiroshima, September 9, 2018
- (5) "Initial Validation of a Japanese Version of the Motivation to Study Abroad (MSA) Scale." JALT College & University Educators SIG 25th Anniversary Conference, Tokyo, September 15, 2018
- (6) "Validation of a Japanese Behavioral and Instructional Management Scale (BIMS)." 2018 KOTESOL International Conference, Seoul, October 13, 2018
- (7) "Roles in Team-Teaching: Nationwide Survey Results." JALT2018: Diversity & Inclusion, Shizuoka, November 24, 2018
- (8) "A Student-Generated List of Freewriting Topics." JALT2018: Diversity & Inclusion, Shizuoka, December 24, 2018

#### VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) Role Perceptions in All Phases of Team Teaching 若手研究(B) 2017-2020

Swenson, Tamara (スウェンソン・タマラ) [Communication, Media, TESOL]

#### IV. 学会発表

- (1) (2018). Reaction to the LDP's push to revise the Japanese Constitution: Application of Ellul's Propaganda Model. International Association for Media and Communication Research, IAMCR 2018, Eugene, OR, USA, June 24, 2018

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) JALT Journal, Editorial Advisory Board member, Jan. through Dec. 2018 (full year)
- (2) JALT 2017 Conference Proceedings, Editorial Advisory Board member, Jan. through Dec. 2018 (full year)
- (3) JALT 2018 Conference Proposal Reading Committee member, Jan. to March. 2018

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 玉造カトリック教会, 聖マリア大聖堂, 広報委員会メンバー, 2018年4月~12月 (Tamatsukuri Catholic Church, St. Mary's Cathedral, Publicity Committee member, Japanese to English translation and English publicity, April 2018 through Dec. 2018)

高橋 絹子(たかはし・きぬこ) [応用言語学・音声学]

#### I. 著訳書

- (1) 『外国人に茶道を伝えるための英会話例文集』共著 2018年3月1日 淡交社

#### II. 学術論文

- (1) 「どうして英語ができる人が通訳を使うのか? -日英ビジネス通訳の現場から」ウェブジャーナル『通訳翻訳研究への招待』第19号 2018年8月 共著

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「日英の逐次通訳訓練によってもたらされる大学生の英語の発話の変化」『上智大学言語学会会報』第33号(2019年1月出版予定) 単著

- (2) "What are good Japanese-into-English interpretations to the audience?" *Proceedings of the 2<sup>nd</sup> ISAPh* (in press). Individual work.

#### IV. 学会発表

- (1) 「どうして英語ができる人が通訳を使うのか? - 日英ビジネス通訳の現場から」日本通訳翻訳学会関西支部例会 於: 兵庫・松蔭女学院大学 2018年3月24日
- (2) 「日英の逐次通訳訓練によってもたらされる大学生の英語の発話の変化」上智大学言語学会第33回年次大会 於: 上智大学四ツ谷キャンパス 2018年7月21日
- (3) "What are good Japanese-into-English interpretations to the audience?" *Proceedings of the 2<sup>nd</sup> ISAPh*. International Symposium on Applied Phonetics. The University of Aizu, Fukushima. 19-21, September, 2018.

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「通訳をはじめよう」於: 朝日カルチャーセンター横浜校 2018年3月31日
- (2) 「英語で茶道」朝日カルチャーセンター 於: 朝日カルチャーセンター横浜校 2018年7月18日
- (3) 「茶道について」全日本通訳案内業者連盟 於: 代々木青少年オリンピックセンター 2018年8月16日

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本通訳翻訳学会関西支部 副支部長(自: 2018年10月1日)
- (2) 日本通訳翻訳学会ウェブジャーナル『通訳翻訳研究への招待』副編集長(自: 2018年10月1日)

**Teaman, Brian**(ティーマン・ブライアン) [Phonetics, Pronunciation, Prosody, Computer Assisted Language Learning]

#### II. 学術論文

- (1) "The Kinesthetic Effect on EFL Learner's Intonation" *Proceedings of the 2<sup>nd</sup> Meeting of the International Society Of Applied Phonetics*, September 2018, joint work.

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) "Attending in Discussions" Invited Presentation. Hiroshima University, Higashi Hiroshima, June 21, 2018.
- (2) "Prosodic Errors in Japanese Speakers of English." Invited presentation. University of Tokyo, Minematsu Lab. June 10, 2018.
- (3) "Haptic Techniques for Teaching English Prosody." *Phonetics Society of Japan, National Conference*, University of Tokyo, October 1, 2018.

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) Naniwa Toastmasters, Vice President of Public Relations, April 2018~

**東條 加寿子**(とうじょう・かずこ) [応用言語学, コーパス言語学, 英語教育]

#### II. 学術論文

- (1) Evidence of cultural differences between American and Japanese mainstream science and engineering contexts from analysis of classroom discourse, *European Journal of Engineering Education*, Published online (open access), 2018. Joint work.

#### IV. 学会発表

- (1) Doing Science in Japanese. The IAFOR International Conference on Sustainability, Energy & the Environment, January, 2018. Joint work.
- (2) The multicultural classroom: a challenge for engineering educators: Differences in learning and teaching styles between Japan and the US. Japanese Society for Engineering Education, August, 2018. Joint work.

- (3) 英語を介した(EMI)理工系の講義に関わる諸要因, 第42回日本科学教育学会, 2018年8月18日.
- (4) Using Corpora to Examine Lecturing Styles in American and Japanese University Engineering Course, Japan Association for English Corpus Studies, October, 2018. Joint work.

#### Ⅶ. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 英語と日本語を介した科学教育における言語の役割の解明, 科学研究費基盤研究(B) 研究分担者, 2016年度-2018年度

上野 育子(うへの・いくこ)〔第二言語習得, 言語教師認知, 授業内TL使用, 授業内TL使用におけるピリーフ〕

#### Ⅱ. 学術論文

- (1) “A comparative Study of Non-native English Speaking Teachers’ and University Students’ Beliefs about Target Language Use Only in the class” *Journal of the Japan Society for Speech Science*, 19, 63-80. 2018年5月, 単著

#### Ⅳ. 学会発表

- (1) “How can CLIL be developed in Japan?” J-CLIL Seminar, Stirling University in the UK, Aug. 2018.
- (2) 授業内英語使用に対する日本人英語教師と大学生のピリーフ: 混合研究法による比較調査, 大阪女学院大学学内研究発表会, 大阪女学院大学, 2018年2月

#### Ⅴ. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 高等学校模擬授業 “エアライン講座”, アサンプション国際高等学校, 2018年7月
- (2) 高等学校模擬授業 “Sustainable Future”, アサンプション国際高等学校, 2018年7月

#### Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) JACET言語教師認知研究会委員, 研究集録研究関連文献リスト担当
- (2) 大学英語教師学会(JACET) 会員
- (3) 日本CLIL教育学会(J-CLIL) 会員
- (4) 外国語教育メディア学会(LET) 会員
- (5) ことばの科学学会 会員



